

# リゾート会員権4.7%安

## 10月 景気不透明感で様子見

リゾート会員権販売仲介のe会員権(横浜市)

がまとめた10月の平均価格は、362万円と前月に比べて4.7%下がった。

値下がりは2カ月ぶり。利上げに伴う景気の先行きの不透明感などを背景に富裕層などが会員

権の購入を様子見したとみられ、一部の会員権の値下げにつながったもようだ。

取引件数は新型コロナウイルス禍前の2019年10月の約1.3倍となった。値下がりした件数は48件と前月から11件増

え、平均価格を押し下げた。40件を超えるのは新型コロナウイルスウイルス禍前の19年10月以来3年ぶり。

リゾートトラストが運営する「エクシブ」は、10月の値下がり件数が多く割安感から引き合いが強まった。e会員権の涌

井智子代表は「エクシブは通常であれば取引件数全体の6割前後だが、10月は66%を占めた。動きが鈍かったこともあり取引件数を確保するために値下げしたのではないかとみている。

価格帯別にみると、300万円以上の高価格帯の取引件数が最も多かった。全体の39%を占めた。前月から15%上がった。100万円未満は、前月から7%減り32%だった。

た。

10月から政府の観光支援策「全国旅行支援」が始まったことで旅行意欲が高まり、足元ではリゾート会員権の問い合わせが増えている。